

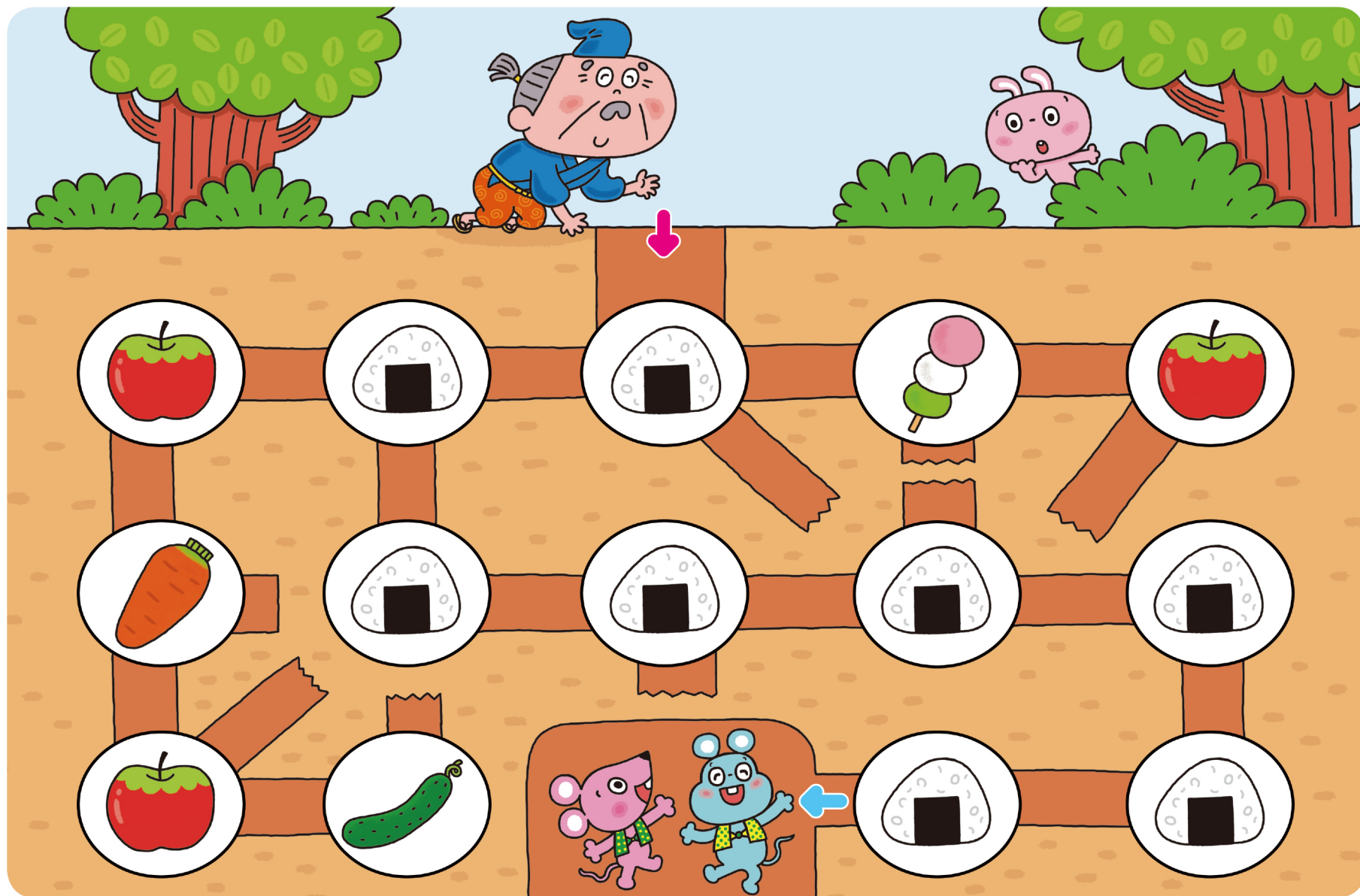
たのしそうに
よみましょう。



日本昔話「おむすびころりん」では、おじいさんが落としたおむすびが転がって穴に落ち、穴からこのような声がしました。穴の底はねずみの世界。おむすびのお礼にもらった箱には、宝物が入っていました。それをまねしたよくばりじいさんは、穴から戻れなくなってしまう（お話は諸説あります）。

おむすび
ころりん
すっとん





おじいさんの おとした おにぎりを、
ねずみに とどけましょう。おにぎりだけを
とおつて、
↓から ↓まで すすみましょう。

「よんだら はろう」 じょうずに よめたら、よんだ ひにちを かいて、がんばりシールを はりましょう。

1

か い め

が つ

に ち

がんばり
シール

2

か い め

が つ

に ち

がんばり
シール

3

か い め

が つ

に ち

がんばり
シール

はっきりと
よみましよう。



横のよから「ぼた餅」が落ちて、もううと開けていたOに入る。つまり、思いがけない幸運が舞い込むという家。また、雷が降るすによいものを持つこと、そして「たなぼた」ということでもあります。「おぼた餅」は、雷がらばた餅みたにより成るを助けてもめたよ」のように使います。



うれしな

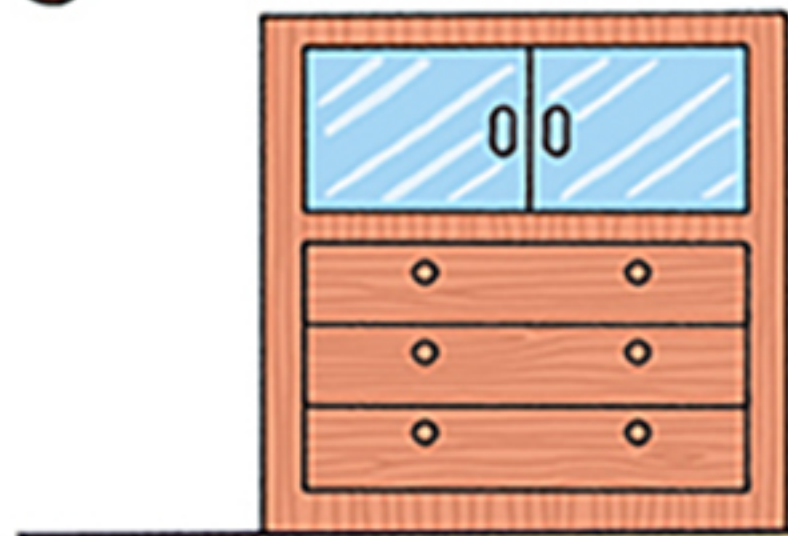
こんな

いいこと

あるなんて

たなから

ぼたもち



えに
と あう
を ことばは
せんで つなぎましょう。どれでしょう。



さらに
ぼたもち



たなか
ぼたもち



たな
ぼたもち

〔よんだら ほう〕 じょうずに よめたら、よんだ ひにちを かいて、がんばりシールを はりましょう。

1

か い め

が っ

に ち

がんばり
シール

2

か い め

が っ

に ち

がんばり
シール

3

か い め

が っ

に ち

がんばり
シール

うたうように
よみましよう。



大正時代に作られた童謡「どんぐりころころ」の歌詞です。「どんぐりころ」とは、物が水に落ちたとき、落ちる様子を表します。起承転結のはっきりとした物語性のある詞で詠じられています。68ページの歌人は、左の木のどんぐりの枝、中央のどんぐりの幹、ドリョウとナマズ、うなぎと魚です。

どんぐりころころ
どんぶりこ
おいけにはまって
さあ たいへん
どじょうが でて きて
こんにちは
ぼっちゃん いっしょに
あそびましよう





うえの えと したの えには、ちがう
ところが 4つ あります。みつけて、
したの えに ○を つけましょう。

〔よんだら はろう〕 じょうずに よめたら、よんだ ひにちを かいて、がんばりシールを はりましょう。

1

か い め

が っ

に ち

がんばり
シール

2

か い め

が っ

に ち

がんばり
シール

3

か い め

が っ

に ち

がんばり
シール